

## 【第1期】文化施設による高付加価値化機能強化支援事業

### 助成金交付要望書の作成にあたっての注意事項

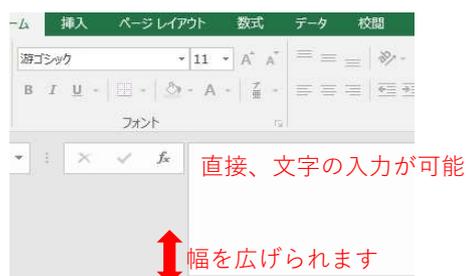
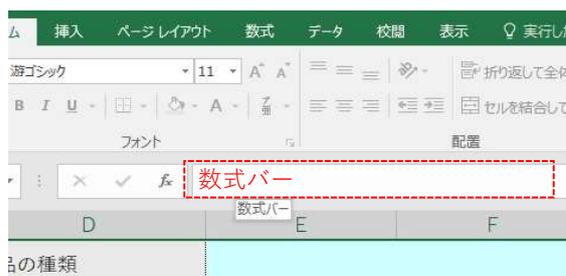
要望書の作成にあたっては、特に以下の点に注意して作成ください。

#### 【要望書作成に際しての注意事項】

- ・本応募様式は自動計算やセルの参照機能等を利用しており、「Microsoft Excel」以外の表計算ソフトで作成すると不具合が発生する可能性があります。**必ず「Microsoft Excel」ソフトをご利用ください。**
- ・施設区分（博物館・美術館等／劇場・音楽堂等）によって入力異なる箇所があります。各シートに記載してある注意事項を必ず確認し、書類を作成してください。なお、記載の必要がない箇所については空欄のままご提出ください。
- ・収入・支出の金額等、各シートの入力情報が別のシートに自動反映される箇所があります。特に様式1-3（事業一覧）は収支予算が正しく反映されているかご確認ください。
- ・本様式はファイル保護のため一部セルをロックしています。
- ・PDFファイル作成の際は、シートで分けず、様式第1号から様式1-7までの全てのシート（未記入のシートを除く）が1つのPDFファイルになるようにしてください。

#### 【入力に際しての注意事項】

- ・他のセルやシートを参照し、自動で入力されるセルの色は緑色となります。  
例) ①拠点形成のための事業
- ・Wordやメモ帳など別のファイルからテキストをコピーして貼り付ける際には、入力するセルをダブルクリックし、入力状態にしてから貼り付けてください。
- ・水色のセルは選択式ですので、右下の  をクリックして選択肢を開き、選択してください。  
例) 選択してください。
- ・内容の入力に際して、画面がうまく表示されない場合は、数式バーを活用ください。



- ・記入欄が狭い場合は広げていただいて問題ありません。ただし、項目によっては1ページに収まるように指定しているものもありますので、PDFファイル作成時のページ範囲の設定にご注意ください。
- ・文字のサイズは判読可能な範囲であれば、小さくしていただいても構いません。

#### 【よく使う操作について】

- |           |  |
|-----------|--|
| ・改行       | [Alt] + [Enter]  |
| ・全角⇄半角 変換 | [半角/全角]  |
|           | キーボードの左上にある【半角/全角】キーを押すたびに、「ひらがな」→「半角英数」→「ひらがな」の順に入力モードが切り替わります。 |

文化芸術活動基盤強化基金による  
助成金交付要望書  
(文化施設による高付加価値化機能強化支援事業【第I期】)

日付を入力してください。

令和6年〇月〇日

独立行政法人日本芸術文化振興会理事長 殿

施設名	正式名称を記入してください。 通称などがある場合には括弧書きで記入してください。 △△△△
〒 000-0000	
住所(所在地)	△△県□□市〇〇〇
代表者職・氏名	代表者は館長または支配人名を記入してください。 〇〇 △△
押印不要です。	
団体名	〇〇〇〇
〒	施設の設置者又は運営者を記入してください。 代表者は地方公共団体の場合は、行政庁の長としてください。
住所(所在地)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
代表者職・氏名	指定管理者制度を導入している場合は「団体名」の欄には、 施設の管理運営団体の名称及びその代表者の職名、氏名を 記入してください。 〇〇 △△
押印不要です。	

下記の事業を行いたいのので、文化芸術活動基盤強化基金助成金交付要綱第3条に基づき、助成金の交付を要望します。

記

1. 施設区分	博物館・美術館等 プルダウンメニューから選択してください。		
2. 設立区分	公立又は施設以外		
3. 事業内容	様式1のとおり		
4. 要望額	申請する事業規模の区分を選択してください(併願可)。 審査は事業規模ごとに実施します。	事業規模 申請区分	要望額
		小規模 ○	緑色のセルは自動入力です。40,000 別シートの収支予算積算内訳(個票)を 入力すると、その数字が反映されます。 40,000 千円
		中規模 ○	20,000 千円
		大規模 ○	300,000 千円
5. 消費税等仕入控除税額の取扱い	課税事業者		
6. 文化庁補助事業等への応募	現在応募中、または既に内定/採択が決定している文化庁補助事業等があれば「有」を選択し、事業名を記入してください。過去に補助金等を受けていたことがあるが、既に当該事業が終了している場合は「無」を選択してください。 詳しくは募集案内P.12の「他の助成事業等との重複応募・重複助成」を参照してください。		

【担当者連絡先】

役職		電話	
ふりがな			
氏名	内定通知等の郵便物の送付先になりますので、確実に届くよう記入ミスのないようご注意ください。 また、住所を変更された場合は、必ず振興会までご連絡ください。		
資料の送付先	〒		

# 1. 5年間の実施計画(概要)

[実施計画の趣旨・目的]

審査基準【ウ】に対応

実施計画の趣旨・目的を記入してください。

## 実施計画の概要(5年間)

1年目<令和6年度>

審査基準【ウ】に対応

各年度における実施計画の概要をそれぞれ記入してください。

- ① 拠点形成のための事業
- ② 国内展示/公演
- ③ 海外展示/公演

上記の3つの事業類型を踏まえている計画であることが分かるように記入をしてください。

※第I期中に必ず作品発表を行う必要があります。

記入後は、文字切れがないか確認をしてください。

第I期

4年目<令和9年度>

第II期

5年目<令和10年度>

## 2. 5年間の活動イメージ図

- ※ 国内展示/公演・海外展示/公演の実施が必須です。
- ※ 若手クリエイター等の育成についての記載が必須です。
- ※ 博物館・美術館等については作品のデジタルアーカイブ化・発信が必須です。

審査基準【ウ】に対応

5年間の活動について記述内容を整理し、1枚に収まるように作成してください。  
図表を用いてもかまいません。

### 3. 本事業の実施体制

審査基準【エ】【ケ】【コ】に対応

#### 【事業統括】

芸術総監督 ○○○ ○○ (音楽)  
館長 ○○○ ○○  
事業部長 ○○○ ○○

#### 【育成支援チーム】

広報・宣伝担当 ○○○ ○○  
・当事業の宣伝、プロモーション計画

#### 【育成】

○○○  
○○○  
以下、  
○○○

- ・本事業の施設内での体制と外部との連携体制を図示してください。
- ・役職名、名前、本事業において果たす役割、分野を明記してください。
- ・申請する文化施設と指導者、育成対象とする若手クリエイター等の関係(専属・業務委託等)が分かるように記述してください。
- ・実行委員会の場合は、申請者が中核団体であることが分かるように、構成と役割を記述してください。

#### 【事務】

育成プ  
○○○  
・関係  
・申請

- ・国内外の関係者・団体・文化施設等との連携・協力体制も踏まえて記入をしてください。
- ・記述内容を整理し、1枚に収まるように作成してください。

○○○館

日本芸術文化振興会

外国関係機関 S

企業 A社

○○音楽堂  
○○ホール

地方自治体 ◆◆市  
○○区

地域・外部機関

## 4. 本事業の特色

[国内外への成果・取組の発信策]

審査基準【オ】に対応

評価を得るために批評家・専門家等を招聘・派遣等する計画があれば記載をお願いします。

[海外とのネットワーク構築方法]

審査基準【エ】に対応

応募する事業の海外展開にあたり、協力する海外の関係機関等とどのような連携・協力体制がとれるか、具体的に記入してください。

## 5. 実施計画終了後(令和11年度以降)の構想

※ 特に、本事業で得られたノウハウやネットワークを活用し、本事業終了後も継続的に実施する、当該分野においてグローバルに活躍する人材の育成や海外展開に関する構想を記載してください。

審査基準【タ】に対応

6. 本事業の実施により、期待される成果や波及効果(我が国の文化芸術の評価や国際的プレゼンスの向上、文化芸術を通じた相互理解の促進、コンテンツ市場の拡大等)

審査基準【チ】に対応

若手クリエイター等の国際的な活躍により期待される成果や波及効果について、文化庁が作成した本事業のロジックモデルの測定指標を参考にしながら記載してください。  
(ロジックモデル掲載先) <https://www.ntj.jac.go.jp/topics/kikin/2024/3138.html>

第I期工程表

申請する事業規模			第I期工程表		1年目 令和6年度(2024年度)												
小	中	大	事業番号	事業類型	事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
○	○	○	1	①拠点形成のための事業	育成対象者、指導者等との契約				指導者との契約	オーディションの実施	育成対象者との契約	提出書類を作成する際は、各シートの間で必ず整合性を取ってください。 (記入例では、想定される多様なケースを示すため、整合性は必ずしも取れているわけではありません。)					
○		○	2	②国内展示/公演	国内展覧会/公演企画・計画立案							公演の企画					
	○	○	3	①拠点形成のための事業	稽古、作品制作、指導、ワークショップ											台本作成	
	○	○	4	③海外展示/公演	海外展覧会/公演企画											公演企画・会場確保	
			5														

・緑色のセル(事業類型と事業名)は、個票の入力内容が自動で入力されます。  
 ・活動ごとに、それぞれの実施時期・実施内容等⇒等を用いて記載してください。  
 ・事業番号6以降は行が非表示になっています。使用する際は、非表示となっている行を再表示させてください。  
 ・PDF化の際は、ページが横向きになっていることを確認してください。

申請する事業規模			第II期工程表		2年目 令和7年度(2025年度)									
小	中	大	事業番号	事業類型	事業名	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
		○	1	①拠点形成のための事業	稽古、作品制作、指導、ワークショップ	台本作成			台本読み合わせ		WS準備		WS実施(3/〇、3/〇)	
	○	○	2	②国内展示/公演	国内展覧会/公演準備				大道具発注会議	大道具制作				
○		○	3	①拠点形成のための事業	作品制作過程の公開、広報・プレスリリース			プレスリリース(6/〇)	公演特設HP公開			稽古風景のSNS発信		
		○	4	③海外展示/公演	海外展覧会/公演企画・計画立案	公演企画							現地打合せ	
			5											

申請する事業規模			第III期工程表		3年目 令和8年度(2026年度)												
小	中	大	事業番号	事業類型	事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	○	○	1	①拠点形成のための事業	デジタルアーカイブやデジタルコンテンツの公開			公演映像の編集・配信									
○		○	2	②国内展示/公演	国内展覧会/公演の開催	公開ゲネプロ(4/〇)	公演実施(5/〇~5/〇)										
	○	○	3	③海外展示/公演	海外展覧会/公演の準備(見本市への参加等)							海外公演の制作					
			4														
			5														

## 育成対象者・指導者等について

## [育成対象とする若手クリエイター等リスト]

氏名	状況	専門分野	職種※	所属	経歴・実績
●● ○○	確定	演劇	プロデューサー	無所属	●○卒業、●●賞受賞
□△ ●●	確定	・採択後に選考等を行うため、応募時点で育成対象者とする若手クリエイター等や指導者等が未定の場合は、様式1-1-③別紙に記入してください。 ・現時点で候補者が決まっている場合は、「状況」欄でプルダウンから「候補」を選択し、様式1-1-③別紙に選考過程を記入してください。			○所属、●●に出演
○○ ●●	候補				*回○○賞新人賞受賞
					審査基準【キ】に対応

※本事業で育成対象とする若手クリエイター等の情報を記入してください。

※欄が不足する場合は、適宜行を挿入してください。

※職種は、募集案内P.6～7「若手クリエイター等の例」を参照してください。

## [当該若手クリエイター等を育成対象とする理由]

<p>第一に今回育成対象として内諾を得ている6名は過去に本団体主催のワークショップに参加し、実力があると芸術監督の●○が認めている人物である。中でも△△ら2名はワークショップ公演の際に名刺を交換し、今後も連携を期待している。また、海外公演の参加に意欲的であり、今後の事業ではV.V.Vへの参加を予定しており、それにふさわしい実力にもうすぐ達しそうな者たち、</p>	<p>当該若手クリエイター等を育成対象とする理由を具体的に記載してください。</p>	<p>審査基準【キ】に対応</p>
--	--	-------------------

## [指導者等リスト]

氏名	状況	専門分野	職種	所属	経歴・実績
●● ○○	確定	演劇	プロデューサー	△△プロダクション	○○賞受賞
□△ ●●	確定	演劇	プロデューサー	無所属	前△△劇場芸術監督 △△祭に招聘
					審査基準【ク】に対応

※今回応募する事業の指導者等を記入してください。

※欄が不足する場合は、適宜行を挿入してください。

[当該人物を指導者等とする理由]

〇〇業界の先駆者であり、現在も〇〇分野の第一線で活躍するクリエイターである。世界的にも有名であり、△△年に〇〇を受賞した。以後、〇〇〇の名前で海外フェスティバルへの招聘の声が毎年かかっており、〇〇年に△△にて行われた〇〇公演は現地の人気好評であり、記録まであった。また、〇〇のワークショップでは世界各国から〇〇人の受講生が集まり、毎年盛り上がり、〇〇の制作現場見学し、〇〇とコネクションを作る。〇〇で〇〇を製作。

当該人物を指導者等とする理由を具体的に記載してください。

審査基準【ク】に対応

[若手クリエイター等の育成方法]

【職種：△△】

- ・〇〇主催の勉強会に参加。現場で〇〇を経験し、当該分野についての知見を深めてもらう。
- ・1年間を通してを実施。フィードバックを指導者からもらう
- ・〇〇の制作現場見学し、〇〇とコネクションを作る。
- ・〇〇で〇〇を製作。

若手クリエイター等がどのように事業に関与するのか、どのような実施計画で、どのくらい展示・公演等に関わるのか等を具体的に記入してください。

審査基準【ケ】に対応

【職種：〇〇〇】

- ・〇〇主催の勉強会に参加。現場で〇〇を経験し、当該分野についての知見を深めてもらう。
- ・1年間を通してを実施。フィードバックを指導者からもらう
- ・〇〇の制作現場見学し、〇〇とコネクションを作る。
- ・〇〇で〇〇を製作。

### (別紙) 若手クリエイター等・指導者等の選考について

採択後に選考等を行うため、応募時点で育成対象者とする若手クリエイター等や指導者等が未定の場合は、本シートに記入してください。

#### ○若手クリエイター等について

審査基準【キ】に対応

[育成対象とする若手クリエイター等の職種]

プロデューサー、演出家、脚本家、…

[選考基準]

- ・海外経験がある
- ・当館主催の○○に
- ・○○の持つ問題

育成対象者・指導者等が確定しており選考を行わない場合、本シートは記入不要です。

[選考基準]

○選考基準が確定していない場合は、選考の目的、考え方、要件などを具体的に記載してください。

[選考方法]

- 経験のある
- 面談の機会を設

[選考方法]

○選考の公募の方法など(目的・基準等に沿った方法として、団体推薦、自己推薦などのあり方)を具体的に記載してください。

[選考者]

○○○○(△△)

[選考者]

○決定していない場合は、予定者または、選考者のイメージなどを具体的に記載してください。

[育成対象者数]

○○人

育成対象とする若手クリエイター等の人数を記入してください(見込みで可)。

#### ○指導者等について

審査基準【ク】に対応

[選考基準]

- ・海外経験がある(○○出身、○○公演主催、H○○年～○○に△△に参加)
- ・当館主催の○○に
- ・○○の持つ問題意識

[選考基準]

○選考基準が確定していない場合は、選考の目的、考え方、要件などを具体的に記載してください。

[選考方法]

- への参加をした
- 面談の機会を設け、

[選考方法]

○選考の公募の方法など(目的・基準等に沿った方法として、団体推薦、自己推薦などのあり方)を具体的に記載してください。

[指導者等の人数]

○○人

指導者等の人数を記入してください(見込みで可)。

評価指標(博物館・美術館等)

様式1-2は博物館・美術館等と劇場・音楽堂等で記入するシートが異なります。必ず該当する施設区分のものを選択してください。

(1)これまでの実績及び数値目標【基礎データ】

※ 令和6年度～令和8年度については、数値目標を記入してください。

審査基準【ウ】に対応

【開館日数・事業本数】

項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度(目標)	令和7年度(目標)	令和8年度(目標)
開館日数						
年間主催事業数 (※1)	主催事業	0	0	0	0	0
	展覧会開催数 (内、本助成対象事業数)	「主催事業」の「総数」の内数を記入してください。(助成対象事業に限りません。)				
	その他 内容: 記入してください					

内数を記入していただく、「主催事業」の「総数」は自動入力されます。

※1 事業の延べ実施回数ではなく、事業本数を記入してください。

【施設利用者数】

項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度(目標)	令和7年度(目標)	令和8年度(目標)
施設利用者数 (※2)	主催事業入場者・参加者数	0	0	0	0	0
	展覧会事業 その他 内容: 記入してください	「主催事業入場者・参加者数」の「総数」の内数を記入してください。				
	その他 内容: 記入してください					
	計	0	0	0	0	0

※2 展示を鑑賞する者、ワークショップ等に参加する者、その他の博物館・美術館等の事業を利用する者の延べ人数を記入してください。博物館・美術館等のスタッフや、併設施設(劇場、図書館等)のみへの入場者数は除きます。

(2)事業における評価指標

文化施設の展示・公演活動に対する専門誌・専門家・批評家等による評価数(高評価)	目標値	〇〇件
	目標値の設定根拠	令和5年度に主催であった。本事業で ・必須項目です。 ・「文化施設の展示・公演活動」とは、 本事業で実施する展示・公演活動のことを指します。 し、いずれも高評価目標を設定。
	計測・算出方法	専門家による批評掲載数(新聞、専門誌、WEB媒体等)・・・掲載X以上でおおむね高評価
デジタル作品(デジタル・アーカイブ化含む)の発信数	目標値	〇〇件
	目標値の設定根拠	登用する若手クリエイター 必須項目です。
	計測・算出方法	第I期終了後に作成
その他	評価指標	クリエイター等の雇用数
	目標値	〇〇人
	目標値の設定根拠	現在契約済み〇〇 募集案内P.8～9の項目例を参考に設定してください。
	計測・算出方法	第I期終了後に雇用
その他	評価指標	
	目標値	
	目標値の設定根拠	募集案内P.8～9の項目例を参考に設定してください。
	計測・算出方法	

その他	評価指標	
	目標値	募集案内P.8～9の項目例を参考に設定してください。
	目標値の設定根拠	
	計測・算出方法	
その他	評価指標	
	目標値	募集案内P.8～9の項目例を参考に設定してください。
	目標値の設定根拠	
	計測・算出方法	

様式1-2は博物館・美術館等と劇場・音楽堂等で記入するシートが異なります。必ず該当する施設区分のものを選択してください。

評価指標(劇場・音楽堂等)

(1)これまでの実績及び今後の数値目標【基礎データ】

※ 令和6年度～令和8年度については、数値目標を記入してください。

審査基準【ウ】に対応

【開館日数・事業本数】

項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度 (目標)	令和7年度 (目標)	令和8年度 (目標)
開館日数						
年間事業本数(※1)	主催事業			0	0	0
	公演事業 (内、本助成対象事業本数)					
	人材養成事業 (内、本助成対象事業本数)					
	普及啓発事業 (内、本助成対象事業本数)					
	国際交流事業 (内、本助成対象事業本数)					
	その他 内容: 記入してください (内、本助成対象事業本数)					

※1 事業の延べ実施回数ではなく、事業本数を記入してください。

【施設利用者数・利用率】

項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度 (目標)	令和7年度 (目標)	令和8年度 (目標)
施設利用者数(※2)	主催事業入場者・参加者数			0	0	0
	公演事業					
	人材養成事業					
	国際交流事業					
	普及啓発事業					
	その他 内容: 記入してください					
施設の利用率(%)						0
計						0

※2 実演芸術の公演等を鑑賞する者、ワークショップ等に参加する者、その他の劇場・音楽堂等の事業を利用する者の延べ入場者数を記入してください。劇場・音楽堂等のスタッフや、併設施設(美術館、図書館等)のみへの入場者数は除きます。

【公演事業データ】

※ 令和6年度～令和8年度については、数値目標を記入してください。

事業種別	事業本数	公演回数	入場者・参加者数	入場者・参加者率	事業本数内訳							
					演劇	音楽	舞踊	伝統芸能	演芸	総合(※1)	その他	
令和4年度	主催公演											
	共催・提携公演											
	計	0	0	0								
令和5年度	主催公演											
	共催・提携公演											
	計											

これまで実施した「公演事業」について、「主催公演」「共催・提携公演」の「総数」を記入してください。令和6年度以降は数値目標を記



【第1期】要望事業一覧

審査基準【力】に対応

設置区分	国立文化施設以外
事業者区分	課税事業者

・緑色のセルは、各個票シートから自動で入力、自動計算されています。  
 ・要望額は、各事業の「自己負担金(支出総額(A+D)-収入)」と「助成対象経費(C)×補助率」のいずれか低いほうで自動計算(※千円単位・端数切捨て)されています。

申請する事業規模が適切に選択されているか、改めてご確認ください。  
 (単願申請だが他の事業規模に○がついていないか等)

年度	申請する事業規模			事業番号	事業類型	事業名	支出		収入	要望額(千円)
	小	中	大				総額(A+D)	助成対象経費計(C)		
R6	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1	①拠点形成のための事業	育成対象者、指導者等との契約	260,240	210,240	0	210
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	2	②国内展示/公演	国内展覧会/公演企画・計画立案	5,000,000	4,545,455	0	2,272
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3	①拠点形成のための事業	稽古、作品制作、指導、ワークショップ	71,130,000	64,991,818	0	64,991
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	4	③海外展示/公演	海外展覧会/公演企画・計画立案	3,000,000	2,727,273	0	1,818
				5						
				6						
				7						
				8						
				9						
				10						
								0	69,291	
R7			<input type="radio"/>	1	①拠点形				0	11,004
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	2	②国内展				0	39,318
	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	3	①拠点形				0	68,000
			<input type="radio"/>	4	③海外展				0	6,454
				5						
				6						
				7						
				8						
				9						
				10						
								0	124,776	
R8		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1	①拠点形成のための事業	デジタルアーカイブやデジタルコンテンツの公開	25,440,000	23,118,182	1,500,000	23,118
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	2	②国内展示/公演	国内展覧会/公演の開催	56,159,000	51,175,909	16,925,000	25,587
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3	③海外展示/公演	海外展覧会/公演の準備(見本市への参加等)	95,574,700	87,349,727	2,200,000	58,233
				4						
				5						
				6						
				7						
				8						
				9						
				10						
合計							177,173,700	161,643,818	20,625,000	106,938
【第1期】全体の合計							440,178,940	401,441,331	20,625,000	301,005

**自動入力**

各年度(個票)の【事業類型】及び【助成対象事業に係る収支】要望額が自動入力されるよう数式が設定されています。

自動入力された内容を確認の上、空欄となる行については非表示にしてください。  
 その後、全体が1ページ以内に収まるように、印刷範囲を設定してください。

事業類型	R6	R7	R8	合計
小規模				
①拠点形成のための事業	210	68,000	0	
②国内展示/公演	2,272	0	25,587	
③海外展示/公演	0	0	0	
小計	2,482	68,000	25,587	96,069
中規模				
①拠点形成のための事業	65,201	0	23,118	
②国内展示/公演	0	39,318	0	
③海外展示/公演	1,818	0	58,233	
小計	67,019	39,318	81,351	187,688
大規模				
①拠点形成のための事業	65,201	79,004	23,118	
②国内展示/公演	2,272	39,318	25,587	
③海外展示/公演	1,818	6,454	58,233	
小計	69,291	124,776	106,938	301,005



【収支予算積算内訳書(個票)兼「消費税等仕入控除税額予算書」】

RO\_1\_②国内展覧会/公演の開催

●(支出)助成対象経費

(単位:円)

項目	細目	内訳詳細	単価 (税込・円)	数量	単位	数量	単位	予算額	課税 対象外	備考
出演費	出演料	出演者A、B、C、D、E	80,000	14	回	5	人	5,600,000		
出演費	出演料	出演者F、G、H、I	70,000	14	回	4	人	3,920,000		
展示・舞台費	舞台設営費		10,000,000	1	式			10,000,000		
展示・舞台費	照明費		10,000	7	日			70,000		
展示・舞台費	音響費							21,000		
展示・舞台費	音響スタッフ							245,000	○	
展示・舞台費	照明スタッフ							245,000	○	
展示・舞台費	機材借料							140,000		
展示・舞台費	衣装メンテナンス							35,000		
運搬費	大道具運搬							48,000		
旅費	鉄道運賃							140,000		
報償費	会場整理員謝							1,260,000	○	
報償費	託児謝金							210,000	○	
報償費	医師・看護師謝金		15,000	7	日	1	人	105,000	○	
会場費	警備費		10,000	7	日	4	人	280,000	○	
雑役務費	収録費		40,000	1	回			40,000		
宣伝費	広告掲載料		1,000,000	1	式			1,000,000		
印刷費	プログラム印刷費		100	3000	部			300,000		
展示・舞台費	舞台監督費		800,000			1	人	800,000		
展示・舞台費	舞台監督助手		600,000			1	人	600,000		
文芸費・企画制作費	各種プラン料	照明	500,000	1	式			500,000		
		音響	500,000	1	式			500,000		
		音楽	500,000	1	式			500,000		
		美術	500,000	1	式			500,000		
人件費			1,000,000			2	人	2,000,000		
展示・舞台費	会場費借料		2,000,000	10	日			20,000,000		
会場費	○○会場		1,000,000	7	日			7,000,000		
選択してください										
選択してください										
選択してください										
選択してください										
選択してください										
小計 (A)								56,059,000		
(A)のうち課税対象外経費 (B)								2,345,000		
助成対象経費計 (C)								51,175,909		※ 課税事業者の場合 (C) = A - [(A-B) × 10/110] 上記以外の事業者 (C) = (A)
助成対象外経費 (D)								100,000		
総額 (A+D)								56,159,000		

●収入

項目	細目	内訳詳細	単価 (税込・円)	数量	単位	数量	単位	小計	備考
入場料収入	入場料	一般	6,500	2000	名			13,000,000	
入場料収入	入場料	U25	3,250	100	名			325,000	
入場料収入	入場料	学生	2,000	50	名			100,000	
図録等売上収入	図録等売上収入	公演パンフレット	1,500	2000	部			3,000,000	
共催者負担金	共催者負担金	○○社	500,000					500,000	
選択してください									
選択してください									
選択してください									
選択してください									
選択してください									
合計								16,925,000	

1. 施設の概要

審査基準【イ】に対応

日付は様式第1号(第3条関係)のシートから転記されます。

施設の名称	(ふりがな) 要望する文化施設の名称を記入してください。	(設置者)				
館長・支配人名	館長・支配人に類する者の氏名を記入してください。					
管理・運営の形態	※「直営」「指定管理者制度」「その他」のいずれかを選択してください。		〔「その他」を選択した場合〕			
設置目的とその根拠	【設置目的】 「その他」を選択した場合は、その形態を記入してください。 【設置根拠】					
文化振興条例・計画等	(公立文化施設の場合) 文化芸術振興のための条例・計画等の有無: ※選択してください。 「有」の場合の条例・計画等の名称及び制定年:					
施設規模 ※博物館・美術館等のみ記入してください	展示施設および付帯施設					
	施設名	面積(単位:㎡)			併設していない場合は、「0(ゼロ)」と記入してください。	
	施設名	託児施設	レストラン	駐車場		
	面積(単位:㎡)	※「有」「無」を選択してください。		収容台数	台	
施設規模 ※劇場・音楽堂等のみ記入してください	舞台施設					
	ホール名	面積(単位:㎡)				
	舞台形状	プロセニウム、アリーナ、フラットスペース等の形状を記入してください。				
	客席総数	「客席総数」を記入してください。				
		可動席:	「客席総数」の内数を記入してください。		可動席:	可動席:
		車椅子席:	車椅子席:	車椅子席:	車椅子席:	車椅子席:
	ホール名	舞台形状				
	客席総数	可動席:	可動席:	可動席:	可動席:	可動席:
		車椅子席:	車椅子席:	車椅子席:	車椅子席:	車椅子席:
		関係施設(付帯施設)				
施設名	面積(単位:㎡)			併設していない場合は、「0(ゼロ)」と記入してください。		
施設名	託児施設	レストラン	駐車場			
面積(単位:㎡)	※「有」「無」を選択してください。		収容台数	台		
バリアフリーの対応状況	施設における物理的バリアフリー化の状況、物理的対応が困難な場合の対応策、その他のアクセシビリティ向上の取り組みについて ※「障害者差別解消法」及び「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」を参照のこと					

審査基準【イ】に対応

## 2. 申請団体の概要

団体の名称	(ふりがな) 表紙に記載した内容と同じものを記入してください。	(代表者役職) 代表者氏名) (設立年月) 年 月
所在地	〒	
指定管理者制度の運用状況 ※該当の場合のみ記入してください	指定管理者名: 指定管理期間: 期日(現在の指定管理期間: 令和 年 月 ~ 令和 年 月 年間)	
選考方法:	※「公募」又は「非公募」のいずれかを選択してください。	
経営責任者 (館長等含む)	役職	氏名
	事務局長	〇〇 〇〇
事業系専門人材 (責任者及び主な担当者) (芸術監督、コーディネーター等含む)	役職	氏名
	プロデューサー	〇〇 〇〇
舞台技術スタッフ (責任者及び主な担当者)	役職	氏名
	技術監督	〇〇 〇〇
会計責任者	役職	氏名
	公益財団法人〇〇〇財団〇〇〇部	〇〇 〇〇
監査責任者	役職	氏名
	〇〇市総務部長	〇〇 〇〇
外部監査の実施状況	※「有」「無」を選択してください。公立の劇場・音楽堂等で直営の場合は「有」を選択してください。	

3. 財務状況

審査基準【イ】に対応

博物館・美術館等

劇場・音楽堂等

法人

(単位:千円)

項目		令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入	事業収入			
	入場料収入			
	施設利用料			
	指定管理料			
	補助金・助成金	0	0	0
	文化庁			
	日本芸術文化振興会			
	その他の国の機関 名称: 記入してください			
	地方公共団体			
	その他 名称: 記入してください			
	民間助成金 名称: 記入してください			
	協賛金			
	賛助会費	0	0	0
	個人			
	法人			
友の会会費収入	0	0	0	
個人				
法人				
寄付金	0	0	0	
個人				
法人				
その他 内容: 記入してください				
計	0	0	0	
支出	事業費			
	管理費(※)	施設管理運営費 一般管理費 管理費、人件費を区分し難い場合は、プルダウンで「管理費・人件費」を選択してください。		
	選択してください			
	その他 内容: 記入してください			
	計	0	0	0
収益率(%)				

複数の文化施設を管理運営している法人の場合、可能な限り、法人全体の財務状況ではなく、要望している文化施設の財務状況を記載してください。

施設(博物館・美術館等または劇場・音楽堂等)の財務状況か、法人の財務状況か、当てはまる方にチェックしてください。

審査基準【ス】に対応

#### 4. 経営の安定化に関する対応について(ファンドレイズの取組等)

※ 3. 財務状況を踏まえて、助成金(補助金)や協賛金、賛助会費、寄付金等の外部資金の獲得に向けた取組について、また、設置者との連携協力関係の維持強化に向けて、今後の計画や方針を具体的に記述してください。

審査基準【ス】に対応

#### 5. 活動実績と施設の強み・特色

※ これまでの活動実績と施設の強み・特色について、必要に応じてデータを用いて説明してください。  
※ 博物館類似施設の場合は、博物館類似施設として社会教育調査の対象施設となっているか、博物館法第3条(博物館の事業)に挙げるような内容を実施しているか、施設での展示コーナーの有無、資料に関しある程度の規模での調査研究を行っているかなど、登録博物館と同種の事業を行い、博物館に相当する施設(指定施設)と同等以上の規模の施設であることが必ず分かるように記入してください。

審査基準【ア】に対応

## 6. 持続可能性に関するチェックシート

審査基準【イ】に対応

※ 以下の設問に対し、当該文化施設の管理運営団体における状況について、「はい」「いいえ」「対応検討中」のいずれかにチェック☑をつけてください。  
(プルダウンメニューから選択してください。)

設 問	回 答		
(1) (長期的経営)長期的視点に立ち、施設の運営を統括する、経営実務者が配置されている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> 対応 検討中
(2) (芸術監督)芸術監督等、劇場運営の芸術面を統括する人材が配置されている。 ※劇場・音楽堂等のみ回答	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> 対応 検討中
(3) (専門人材の確保)今日的な施設運営に必要な職能や専門性を踏まえ、運営体制が整備されている。あるいは専門人材の確保や育成に努めている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> 対応 検討中
(4) (職制の整理)芸術監督、館長、支配人、プロデューサー、その他管理職の職位及び職能、一般職員の職務内容等が専門性を基に整理され、役割分担されている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> 対応 検討中
(5) (世代間バランス)年齢バランスを考慮した人材確保を行っている(若年層の雇用に努めている)。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> 対応 検討中
(6) (ジェンダーバランス)女性管理職比率が30%以上である。あるいは、女性の管理職やリーダー職への登用に努めている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> 対応 検討中
(7) (ワークライフ・バランス)仕事と育児・介護等の両立支援制度を整備し、推進している。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> 対応 検討中
(8) (コンプライアンス順守)情報セキュリティをはじめ、各種コンプライアンスの順守規定を策定し、必要な研修を行っている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> 対応 検討中
(9) (ハラスメント防止対策)職場内及び創作現場におけるパワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント等防止のための指針等を策定・周知し、必要な研修を行っている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> 対応 検討中
(10) (適正な契約事務)クリエイター等やスタッフと適正な契約書を交わしている。 ※文化庁「文化芸術分野の適正な契約関係構築に向けたガイドライン」(令和4年7月27日 文化芸術分野の適正な契約関係構築に向けた検討会議)参照のこと	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> 対応 検討中

※ 「いいえ」「対応検討中」にチェックとした項目について、問題意識や今後の取組予定があれば、記述してください。